

## ■ 一般目標 (GIO)

わが国は超高齡社会を迎え、社会生活に関連する全ての分野でその対応が急がれている。また、高齡者における口腔の健康維持増進についてはとくに重要であることが叫ばれている。このような背景のもとに、歯科衛生士の視点から高齡者歯科学について専門的な知識、技術を学習する。

## ■ 到達目標 (SBOs)

- ・ 高齡社会は何か説明できる。
- ・ 高齡者にかかわる法律を説明できる。
- ・ 高齡者の身体機能の老化について説明できる。
- ・ 高齡者とのコミュニケーションにおいて配慮すべき点を説明できる。
- ・ 高齡者に多い全身疾患・口腔疾患について説明できる。
- ・ 高齡者の栄養状態で留意する点について説明できる。
- ・ 高齡者の薬剤服用の留意点について説明できる。
- ・ 高齡者に対する口腔衛生管理について説明できる。
- ・ 摂食嚥下の評価と対応について説明できる。

■ 教科書：最新歯科衛生士教本 高齡者歯科 第2版(医歯薬出版)  
プリント配布

■ 参考書：歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション(医歯薬出版) 歯科衛生士講座 高齡者歯科学 第3版(医歯薬出版)

■ 授業時間：(1)木曜日 13:00～16:50  
(2)木曜日 15:00～16:50(実習は半数ずつ行う)  
(3)月曜日 10:00～10:50  
(4)月曜日 9:00～10:50

■ オフィスアワー：鈴木 雅子 (suzuishim.masako@nihon-u.ac.jp)  
月曜日～金曜日 9:00～17:00

■ 授業の方法：教科書と授業で配布するプリントを中心に、スライドを用いた講義形式を進める。グループワークやディスカッションを行うため準備学習も含め積極的に取り組むこと。

■ 準備学習・ 事前に教科書, 参考書を読み講義内容を予習しておくこと。  
準備学習時間：復習では教科書, プリントを合わせ, 理解を深めること。  
授業時間相当を充てて予習復習をすること。

■ 成績評価方法：定期試験(90%), 実習レポート, 3回(10%)を総合して評価を行う。

■ 注意事項：教科書を持参する事。

- 実務経験：植田 耕一郎：本学大学院卒業後、9年間東京都リハビリテーション病院にて摂食機能療法の確立に勤め、その後5年間新潟大学にて摂食嚥下リハビリテーション外来を立ち上げ、2004年より本学摂食機能療法学機能療法学講座創設をする。
- 中山 潤利：本学大学院卒業後、摂食機能療法学講座の助教として9年間在籍し、現在は同講座の准教授として勤務。摂食嚥下障害および高齢者歯科を専門としている。
- 阿部 仁子：本学大学院卒業後、摂食機能療法学講座の助教として9年間在籍し、現在は同講座の准教授として勤務。摂食嚥下障害および高齢者歯科を専門としている。
- 酒井 真悠：本学大学院卒業後、摂食機能療法学講座の助教として在籍、勤務している。摂食嚥下障害および高齢者歯科を専門としている。
- 鈴石 雅子：歯科病院，歯科医院，高齢者施設での勤務経験を持つ。その経験を基に，歯科衛生士の立場から，高齢者の口腔と全身の健康維持増進を支えるために必要な理論を学べる講義にしたいと考えている。

■予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回(2) 4月8日 鈴石 雅子	高齢者とは  高齢者歯科とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の年齢基準，特徴，取り巻く環境などについて学ぶ。</li> <li>・ 高齢者歯科学の範囲について学び，歯科衛生士の役割を学ぶ。</li> </ul>
第3・4回(2) 4月15日 鈴石 雅子	口腔ケアとは 専門的口腔ケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口腔ケアの定義・意義・留意点について学ぶ。</li> <li>・ 口腔ケアに関わる職種と業務内容について学ぶ。</li> </ul>
第5・6回(2) 4月22日 鈴石 雅子	口腔領域の疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者に多い口腔領域の疾患について学ぶ。</li> <li>・ 加齢が口腔領域に及ぼす影響や口腔の構造と機能を学ぶ</li> </ul>
第7・8回(2) 5月6日 鈴石 雅子	口腔ケア法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の場における口腔ケア法について学ぶ。</li> </ul>
第9・10回(2) 5月13日 鈴石 雅子	認知症について  高齢者と薬剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症を理解し，接し方を学ぶ。</li> <li>・ 高齢者の特に注意する薬剤について学び，薬剤と疾患の関連性を理解する。</li> </ul>

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第11・12回(2) 5月27日 鈴石 雅子	高齢者に多い疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者に多い疾患について学ぶ。</li> </ul> (13:00~14:50 高齢者援助論)
第13・14・15・16回 (1) 6月10日 鈴石 雅子	要介護高齢者について  保健・医療・福祉について	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護高齢者について学ぶ。</li> <li>口腔ケアとQOLの向上の関係について学ぶ。</li> <li>高齢者を支える保健・医療・福祉について学ぶ。</li> </ul>
第17回(3) 7月12日 鈴石 雅子	摂食・嚥下機能について	<ul style="list-style-type: none"> <li>摂食・嚥下機能について学ぶ。</li> </ul>
第18回(1) 7月15日 植田 耕一郎	要介護高齢者への摂食嚥下リハビリテーション概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護高齢者の摂食嚥下リハビリテーションの概要について学ぶ。</li> </ul>
第18回(1) 7月15日 酒井 真悠	摂食機能障害の診断・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>摂食機能障害の診断と評価について学ぶ。</li> </ul>
第19・20回(1) 7月15日 中山 潤利	摂食機能障害の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>摂食機能障害の対応について学ぶ。</li> </ul>
第22・23回(4) 7月19日 鈴石 雅子	デンチャープラークコントロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>義歯特有の汚れを学ぶ。義歯を装着している人への接し方、注意点などを理解する。</li> <li>各種方法の利点・欠点を学ぶ。</li> <li>義歯の特徴と種類を理解し、着脱方法を学ぶ。</li> </ul>
第24回(1) 8月26日 阿部 仁子	発達期における摂食・嚥下障害に対する歯科衛生士としての対応概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達期における摂食・嚥下障害に対する歯科衛生士としての対応方法の概論を学ぶ。</li> </ul>
第25・26・27回(1) 8月26日 鈴石 雅子	食事形態について  食事摂取への影響について	<ul style="list-style-type: none"> <li>老年期の食事摂取への老化の影響について学ぶ。</li> <li>食物の物性を理解し、摂食・嚥下しやすい食物形態、しにくい食物形態を学ぶ。</li> </ul>
第28・29回(4) 8月30日 鈴石 雅子	経管栄養について	<ul style="list-style-type: none"> <li>経管栄養について学び、管理と指導について理解する。</li> </ul>

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第30回 10月 日 鈴石 雅子	特別養護老人ホーム	・ 特別養護老人ホーム「かんだ連雀」へ実習に行くための知識・技術の確認を行なう。